

飯塚市議会議員 うえの伸五の市政報告

「ゴーゴー・しんご」 全力投球



第十六球！

議会・委員会での発言等、ご紹介させていただきます。

*庁舎内の全面禁煙実施について

既に県内半数以上の市で庁舎内禁煙を行っており、国は公共施設での全面禁煙が望ましいとしている。また、平成18年の成人平均喫煙率や職員の平均給与で推定計算すると約8300万円の人件費損失額となる。全面禁煙を実施すべきではないのか。

【総務部長】

喫煙時間はトイレと同様必要最小限の時間で行うよう指導している。また喫煙による業務効率の向上も考えられないわけではないため、そこまで強く指導していない。

【うえの伸五】

喫煙していない職員はこの間勤務をしているわけで

皆さん、こんにちは。いつもお世話になっております。上野伸五です。

先般、議員活動の一環として若手議員の勉強会、

「明日の飯塚を考える有志の会」を立ち上げました。

参加議員は、秀村長利、守光博止、吉田健一の各議員です。この会では毎月数回の定例会を開き、市民生活に直結する問題について、市長及び担当部長に要望書を提出し改善を促すなどの活動を行っております。

皆様から議員に押し上げていただいて約6年間、ご指導やご指摘をいただきながら様々な分野で活動をさせていただきました。

この経験を活かしながら、より良い市民生活を実現するため更に努力してまいります。今後とも叱咤激励を賜りますように、よろしくお願いたします。以下、

す。また、来庁される方には妊婦や子ども達、病気でタバコを吸ってはいけない方もたくさんいらっしゃる。

財政を圧迫している人件費損失額。喫煙時間損失による市民サービスの低下、喫煙者と非喫煙者の勤務時間の不公平感、受動喫煙などの健康面、近隣自治体の状況、そして飯塚市の労働安全衛生管理規則や何より市長の目指される健康と幸せなまちづくり、スマートウェルネスシティ構想を考慮すれば飯塚市の公共施設では完全禁煙を実施すべきではないかと思いますが、いかがですか。

【総務部長】

公共施設等につきましては、禁煙が望ましいとされております。現在、庁舎の整備が検討という状況下で、それが具体化となれば受動喫煙防止施策の強化としての全面禁煙、もしくは完全分煙についての検討、このようなものも必要になると考えております。

【うへの伸五】

私の先輩や知り合いの職員さんの中にもたばこを吸われている方はたくさんいらっしゃいます。あの意味勇気を持ってこの代表質問で質疑や指摘を

させていただいておるんです。私たち議員には強制する権利はありません。飯塚市のために齊藤市長の勇気ある決断をご期待申し上げます。

* 図書館・プール等の休日設定について

【うへの伸五】

図書館やプールは原則的に月曜休みということだが、それでは勤め先が月曜休みである市民の場合、利用できない状況であり、いかにも不公平ではないのか。

【生涯学習課長】

両施設とも指定管理者に管理運営をお願いしている施設で、開館日や開館時間についても条例に沿った運営がなされており、開館日をふやしていくことについては、市民サービスの拡充につながるものですが、

指定管理者の人員体制にも影響が出るため、指定管理者と十分な協議を行い、指定管理者の理解が得られれば実施することが可能だといっふふうに考えております。

【うへの伸五】

市民の皆さんが利用しやすい環境整備を速やか

に実現をしていただきますようお願いをします。

*施設のネット予約の実現について

体育施設でもネットを予約を導入していただくと利便性の向上につながると思いますが、準備は進んでいますでしょうか。

【生涯学習課長】

体育施設につきましては、現在、来年2月からの運用に向け準備を行っております。来月の広報、ホームページなどお知らせしていく予定にしております。

【うへの伸五】

体育施設についてのネット予約は平成25年2

月から実施できると、理解してよろしいですね。

公共施設の休日制度や予約制度も含めて、市の情報全般については周知を徹底することが必要だと思います。

市報やお知らせなどの紙ベースでの広報を充実させることも当然ですけれども、特に若い人たちに向けてはホームページだけではなく先進事例のあるフェイスブックなどの活用も検討していただき、できれば来年早々にでも試験的に実行していただ

きたいと要望いたします。

*工事発注の公平性・公正性について

(課長決裁の各所工事予算は数億円ある)着工する順番や見積業者の選定については公平性、公正性を欠いてはならない。これは公務員の責務でもあります。どのように考えますか。

【土木管理課長】

工事発注の標準化という事でございますが、百三十万円未満の業者発注につきましては、平均性を保つように努力してまいると答弁しております。いろいろな要素を考慮しながら、標準化を検討してまいりたいと思っております。

*空き家やゴミ等、日常生活における苦情について
放置空き家や放置ごみ、ペットの放し飼いや糞の放置など日常生活における市民の苦情への対応策についてどのように考えているのか。

【市民環境部長】

空き家に関しては、「空き家等の適正管理に関する条例」案を作成し、現在協議をしています。また放置ごみ等の苦情に関しましては、先例事例を参考にしながら、美しいまちづくりを目指した条例策定

の検討を進めております。今後はそれぞれの内容を整理し、平成二十五年度からの施行を目指したいと考えております。

【うへの伸五】

まちづくりの最小単位は組内や両隣ですので、できるだけトラブルが起こらないような条例の制定、実施を早くしていただくように要望する。

*イノシシ対策として加工所設置について

宗像市、宮若市などは広域で食肉加工所を設置するようですが、本市においてもぜひ設置していただきたいが、いかがでしょうか。

【経済部長】

捕獲したイノシシの肉を加工・販売するには、殺処分後、速やかに適切な処理が必要とされること。食用に適するのは冬場の肉に限られ、肉質のばらつきがあることなど肉の安定供給体制や安定的な販路が確保されることなども含め、食肉の解体処理施設の維持管理などの問題は数多くございます。先進事例における処理施設の運営状況は厳しいものがあり、また、直接の鳥獣被害対策とはならないことから現状として、本市において処理加工施設の設

置については、困難性が高いものというふうに現状で判断しているところがございます。しかしながら、捕獲しましたイノシシやシカは猟師の方が自分で食べられるものを除きまして、多くは殺処分されておりますので有効活用という視点で肉を利用してきかないか、引き続き、今後の課題として検討してまいりたいと考えております。

【うへの伸五】

結果が出れば、ご報告をいただきたいと思います。また、福岡県への要望など設置要望等続けていただきながら、市内の大学でイノシシやシカ肉の有効成分を研究していただくとか、ご当地グルメに取り上げていただくなど、違う視点からの検討も心がけていただきますようお願いをします。

*テレビ難視聴の地域への対応について

市内には、テレビが映らない地域が数多くあるということに大変驚いている。地元の情報がテレビで流れない地区というのは、おおよそは山の中や込み入った地域で自然災害の危険性も高く、その周りは決して住居は多くない場所が多いと思う。高齢者もかなりの割合で住まれているのではないのか。私が

このようなテレビ難視聴地区を知ったのも、病気で寝たきりになった方のご家族からのご相談だった。高齢者の方の一番の情報源はやはりテレビだと思う。地元のニュース、天気予報が流れなければ、とっさの災害に対応ができない。一刻も早い改善を強く要望したい。

*** 自治公民館の運営費補助金について**

【うへの伸五】

自治公民館が古い自治会もかなりあり、維持管理や水道光熱費などの経費、また公民館活動や自治会活動を補助、支援する意味でも、増額すべきだと思うが、どのような考えか。

【中央公民館長】

増額につきましては関係各課と今後協議を行ってまいりたいと考えております。

【うへの伸五】

公民館費を上げると加入率が下がり、コミュニティも崩れてくるので、見守り活動にも支障が出てくると思う。協働のまちづくりを行う上で、自治会活動を応援していただく意味でも、是非、見直しをお

願いたいと思うが、見解は。

【中央公民館長】

現在、地域向け補助金の一本化検討が示されております。地域の実情に応じて市民活動がより、自主、自立的に、そして柔軟に使用できるように検討がなされてまいりますので、自治公民館運営補助金につきましても地域向け補助金の一本化の検討に含めまして、今後協議等行ってまいりたいと考えております。

【うへの伸五】

水道光熱費のうちに市が対応できるものは水道料金だけです。せめて基本料金だけでも免除してもらえないかとお願いをすると、それは難しいというご返答でした。一括補助金の算定をされる際に、地域事情も十分に酌んでいただいて検討をしていただきたい。今の中央公民館長の言葉を信じておりますのでよろしくお願いいたします。

*** 旧4町支援事業費の予算額について**

【うへの伸五】

旧4町まちづくり支援事業費の予算額は、二百四

十九万一千円、一方 中心市街地活性化事業の調査委託経費は、一億二千六百二十九万一千円であり、比較するとあまりにも少なく、旧四町の特色を調査するには非常に厳しい。今後予算が必要な場合には、ケチらずに出していただけますよね。

【財務部長】

それぞれのまちづくりについては市全体として取り組んでいかなければならない分でございますので、その時点、その時点で検討させていただいて取り組んでいきたいと考えております。

*旧4町の拠点とは具体的にどこなのか

【都市建設部長】

これまでの地域づくりや公共施設を中心とした機能集積のある各支所周辺を地域拠点として位置づけております。

【うえの伸五】

旧4町の問題点をどのように考えているのか。

【企画調整部長】

地域住民の方のご意見等も調査しながら地域課題の掘り起こしを行うことが必要であると考える

おります。なお、日常生活品を買う場所がない、遠いといった買物弱者対策が共通の課題であると認識をいたしております。

【うえの伸五】

例えば、地域拠点の周辺に市営住宅を集積させ、スーパーや医療福祉施設を誘致して地域版コンパクトシティを構築する。このような拠点が市内各地にできていけば、将来の行政コスト削減や地域コミュニティの活性化、子ども達や高齢者への見守りも進み安全、安心なまちづくりにつながると考えるが、このような構想の実現に具体的に取り組んでいただけなのか。

【企画調整部長】

歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりの観点からは、例えば地域拠点内に市営住宅があることが望ましいと思いますが、これまで生活セクター地域の愛着、それから新たな土地取得に要する費用などが必要になりますので、実現に向けては困難な面が多々あるかと思っております。今後、関係部署と協議検討は行ってまいりたいと考えております。

*** 子宮頸がんワクチンについて**

子宮頸がんワクチンへの補助については、万が一
国で見直しがあつたとしても飯塚市としてはぜひ
継続をしていただきたい。

【健康増進課長】

補助がなくなつた場合、事業の必要性を考え何ら
かの形で継続できないか検討したいと考えており
ます。

*** 各地域の防犯灯について**

生活弱者と言われる高齢者の比率が高まる自治
会というのは予測ができると思う。前年度実績とか
各支所からの申告もあるとは思つが、各自治会の年
齢層なども十分に考慮するように要望する。

*** バス路線維持費については、赤字路線の廃止あり
きではなく路線変更やコミュニティバスとの連携
など市民にとってより便利となるような検討をす
べきである。**

*** 放課後子ども教室事業については、子ども達に豊
かな居場所と充実した学びの機会提供がなされる
ように、更なる創意工夫と拡充を希望する。**

*** 飯塚市内すべての乳児家庭を全戸訪問する事業に
ついては、初めて出産を経験したお母さん方にとつ
てありがたい事業であると思うが、各家庭を女性一
人で訪問している現状では危険も伴つ、せめて男性
ドライバーを帯同するべきである。**

*** 認定子ども園となる幼稚園において臨時職員の
雇用人数に影響があるのか、という問いには「いま
で通り必要な人員配置に努める」との答弁です。**

*** 光回線の無い頼田、庄内地区においては学校教育
にも少なからず影響がある、ハードで対応できない
ものは出来る限りソフトの部分で補つことが必要
である。**

*** 教育研究所については、教育問題の研究や教職員
の資質向上など飯塚市教育委員会の大切な機関の
一つである。増員し一層の強化を強く要望する。**

*** 市職員が健康診断を受ける際の着替え場所がない。
新庁舎建設では工事費や規模ばかりが話題になつ
ているが、必要なものはキッチンと確保するように。**

*** 市が運営している駐車場については借入金の返**

済も今年度で終了するのだから、今後の修繕維持費の負担額などを考えれば、交通弱者などへの対応を完備した上で民間への売却を検討すべきである。

*生活保護・医療扶助費について

生活保護の医療扶助費は年間60億円を超えて扶助費全体の6割弱という高額なものである。各医療機関の1回当たりの医療費の比較や、保護世帯と非保護世帯の医療費の比較なども行い、今後とも適正執行に努めていただくように要望する。

*国も重要施策の一つとしている男女共同参画の事業費だが、飯塚市の予算はあまりにも少なすぎる。

*三十年以上続いている飯塚新人音楽コンクール事業は、民間の「育てる会」が中心となり毎年四百〜五百万円の支援金を集めて開催している飯塚が誇るべき事業である。市としても出来得る限りの支援を要望する。

*プレミアム商品券について

今回、市外居住者にも販売をされているが、楽し

みにされている市内の方が出来るだけ購入できるような事業実施をしていただくように要望する。

*公務員の責務と懲戒処分について

市民に対して不誠実、公平な行政事務を行い、指摘を受けても改善しようとしぬ職員について見逃すことは許されない。市民への背信的な行為に該当する職員が明らかになった場合には毅然と厳正に対応していただくよう要望する。

ご意見・ご要望をお気軽に聞かせください

一人が気付かれた事には、実はたくさんの方々も困っているのかもしれない。何かございましたら、どうぞ、お気軽にお知らせ下さい。

今後とも、よろしくお願いいたします。

連絡先】 090 3079 0470

ハコフアドレム info@ueno-shingo.com